

平成17年11月28日

株 主 各 位

愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

マルサンアイ株式会社

代表取締役社長 下村 鈞 爾

第54回定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、当社第54回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席下さいませようご通知申し上げます。

なお、本総会の付議事項には、その決議に定足数を必要とする議案がございますので、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますから、後記の参考書類をご検討下さいまして、お手数ながら同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示頂き、ご押印のうえ、平成17年12月13日（火曜日）までに到着するよう、折り返しご送付下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成17年12月14日（水曜日）午前10時
2. 場 所 愛知県岡崎市康生町515番地33
岡崎ニューグランドホテル3階飛龍の間
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照下さい。)

3. 会議の目的事項

報告事項

- (1) 第54期（平成16年9月21日から平成17年9月20日まで）営業報告書（定款授權に基づく取締役会決議による自己株式の買受け状況の報告を含む）、連結貸借対照表及び連結損益計算書並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- (2) 第54期（平成16年9月21日から平成17年9月20日まで）貸借対照表及び損益計算書報告の件

決議事項

- 第1号議案 第54期利益処分案承認の件
第2号議案 定款一部変更の件
議案の要領は、後記『議決権の行使についての参考書類』（25頁から26頁まで）に記載のとおりであります。
第3号議案 取締役14名選任の件
第4号議案 補欠監査役1名選任の件
第5号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

会議の目的事項の内容等は、次頁以下に記載のとおりであります。

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。

# 営 業 報 告 書

(平成16年9月21日から  
平成17年9月20日まで)

## 1. 営業の概況

### (1) 企業集団の営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用・賃金情勢の好転等、景気の踊り場脱却への期待が高まってきたものの、原油価格の高騰を要因とする原材料費の上昇、米国経済の先行き不安など不透明な状況で推移しております。

一方、個人消費につきましては、税制改正・年金制度等の制度変更による不安感が残り、本格的な回復には至っておりません。

食品業界全般におきましては、外国資本の参入や流通業界における企業再編の動きに加え、少子高齢化による競争激化といった不透明な消費動向で推移しております。また、特定保健用食品の拡大に見られるように、食の安全・安心に対する消費者の要求がますます高まっております。

みそ業界におきましては、ここ最近、みその効能が注目され見直される動きがありますが、依然として漸減傾向が続いており、出荷量が6年連続で前年割れとなるなど、一段と厳しい状況となっております。

豆乳業界におきましては、消費者の健康志向の高まりを追い風に、豆乳を使用した製品が増加したことにより裾野が広がり、相乗的に豆乳市場の拡大基調が続いております。

このような環境の中で、当社グループは消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、積極的な新製品の開発や、安全・衛生・品質管理をすすめてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、主に豆乳の販売が堅調だったことにより売上高は、197億8百万円（前連結会計年度比5.7%増）となりましたが、賃借料、燃料費、水道光熱費等の製造原価の増加により営業利益は7億89百万円（前連結会計年度比23.1%減）、経常利益は6億59百万円（前連結会計年度比22.4%減）、当期純利益は、法人税等の還付49百万円等により、3億43百万円（前連結会計年度比12.1%増）となりました。

なお、平成17年6月と8月の2度にわたり、即席生みそ汁小袋の膨張による自主回収という事態を引き起こしたことに對し、株主及び消費者並びに関係者の皆様にご迷惑、ご心配をおかけいたし深くお詫びを申しあげます。今後このような事態が発生することがないよう一層の品質管理の徹底に努める所存でございます。

当連結会計年度の企業集団の各部門別売上高は、次のとおりであります。

| 部 門 別 | 第 53 期<br>(平成15年9月21日から<br>平成16年9月20日まで) |       | 第 54 期<br>(平成16年9月21日から<br>平成17年9月20日まで) |       | 対前連結会計年度<br>比較増減率 |
|-------|------------------------------------------|-------|------------------------------------------|-------|-------------------|
|       | 金 額                                      | 構 成 比 | 金 額                                      | 構 成 比 |                   |
|       | 百万円                                      | %     | 百万円                                      | %     | %                 |
| み  そ  | 5,856                                    | 31.5  | 5,834                                    | 29.6  | 0.4               |
| 豆  乳  | 7,672                                    | 41.2  | 9,186                                    | 46.6  | 19.7              |
| 飲  料  | 4,263                                    | 22.8  | 3,778                                    | 19.2  | 11.4              |
| そ の 他 | 849                                      | 4.5   | 908                                      | 4.6   | 6.9               |
| 合  計  | 18,641                                   | 100.0 | 19,708                                   | 100.0 | 5.7               |

## みそ事業

業界全体としてみその出荷量は引き続き減少傾向にありますが、売上高は58億34百万円（前連結会計年度比0.4%減）となりました。

### <生みそ>

業務用みそが比較的好調だったものの、主力銘柄である「カップだし入りあわせ」、「ミックス」、「味の饗宴」の出荷が昨年未までの暖冬の影響もあって出荷が若干落ち込み、当連結会計年度における出荷数量は27,778トン（前連結会計年度比1.4%減）、売上高につきましては、営業努力により販売単価が回復傾向にあることなどから45億77百万円（前連結会計年度比0.5%減）となりました。

新製品として、現行のだし入りみそ以上の「簡便性と味」を追求した、次世代のだし入りみそ「Wパック赤だしみそ」、「Wパックあわせみそ」を発売いたしました。

### <調理みそ>

鍋シリーズや新容器のスパウトタイプ並びにカンタンお料理みそが好調で、売上高は、7億23百万円（前連結会計年度比15.0%増）となりました。

新製品として、かつお、いりこ、焼きあごでだしをとり麦みそ仕立て、すりゴマの風味を利かせた「宮崎冷汁風そうめんだれ」、鶏がらスープでだしをとり、程よい辛さとさわやかな酸味に仕上げた「韓国冷麺風そうめんだれ」、本場韓国産コチュジャン、中国浙江省産ラー醬、コクと旨みの強い三州産豆みそをブレンドし、こくのある辛口タイプのストレート鍋スープに仕上げた「名古屋流みそキムチ鍋スープ」、希釈タイプの鍋スープシリーズとして「今夜は鍋とり野菜鍋」を発売いたしました。

### <即席みそ>

猛暑の影響で生みそ類の出荷が伸び悩む中、簡単・便利な即席みそは比較的堅調に推移してまいりましたが、6月と8月における即席生みそ汁の自主回収とそれ以降販売を休止した影響で、売上高は、5億34百万円（前連結会計年度比14.8%減）となりました。

新製品として、米みそに豆板醬、にんにく、ごまを配合したコクのあるキムチ鍋風の味わいが楽しめる「辛くて旨いとん汁」、おわんにポンと入れてお湯を注ぐだけの、手軽でおいしいみそ汁「おわんにポン！！おみそ汁」を発売いたしました。

## 豆乳飲料事業

豆乳飲料事業全体の売上高は、129億65百万円（前連結会計年度比8.6%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツINC.につきましては、持分法による投資損失21百万円を営業外費用に計上しております。

### <豆乳>

消費者の健康志向が一層高まる中、当初の予定を下回ったものの比較的好調に推移し、出荷数量は、60,643キロリットル（前連結会計年度比23.4%増）、売上高につきましては1リットルサイズの出荷が特に好調に推移した結果、91億86百万円（前連結会計年度比19.7%増）となりました。

新製品として、DHA、カルシウムを加え栄養を強化した「まめびよ調製豆乳」、国産大豆を使用し、コレステロール低下作用が確認された特定保健用食品である「国産大豆の調製豆乳」を発売いたしました。また、大豆の持つ機能性を強化した「しみ込む豆乳」を通販専用商品として発売いたしました。

### <飲料>

飲料につきましては、豆乳の生産量が増加したことによる影響もあり、出荷数量は34,246キロリットル（前連結会計年度比12.1%減）、となりました。売上高につきましては、37億78百万円（前連結会計年度比11.4%減）となりました。

## その他事業

その他事業の売上高は、9億8百万円（前連結会計年度比6.9%増）となりました。

新製品として、野菜を切って炒めるだけでおいしい野菜料理を手軽に作ることでできる合わせ調味料「ピーマン炒め」、愛知県「奥三河鶏」のガラエキス、肉の味を引き立てるドイツ産岩塩を使用し、有機栽培大豆使用の豆乳で仕上げた、化学調味料不使用の「豆乳仕立て鶏白湯（パイタン）鍋スープ」を発売いたしました。

## (2) 企業集団の設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度は、総額10億2百万円の設備投資を実施いたしました。

事業別の投資額は、みそ事業で1億69百万円、豆乳飲料事業で8億28百万円、その他事業で5百万円となっております。主な内容は、みそ事業は、みそ仕込設備代替、豆乳飲料事業は、関東工場豆乳ライン増設、本社豆乳飲料工場設備合理化を実施いたしました。

これらに必要な資金は、自己資金及び金融機関からの借入金により充たしております。

### (3) 企業集団が対処すべき課題

今後の経済情勢につきましては、景気は回復基調にあるものの、原油価格高騰による経済への影響が懸念され、増税や年金問題を背景とした将来不安から個人消費の大幅な拡大は期待できず、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

当社グループにおきましては、原油価格の上昇に伴う影響で電力代や石油関連資材等のコストアップが懸念されております。

また、食の安全・安心に対する消費者ニーズの高まりの中、コンプライアンス（法令遵守）については、重要な経営課題のひとつであり、社内におけるコンプライアンス体制を確立して、法令遵守に努めてまいります。

みそ事業に関しましては、業界全体として出荷量が漸減傾向にある中で、今後はみそ汁としてのみそだけでなく、調理みその多角化を図りながら、醗酵調味料としてのみそを普及させてまいります。

なお、現在販売を休止しております即席生みそ汁につきましては、できるだけ早く販売が再開できるよう、生産体制及び品質保証体制の再構築を図っております。

豆乳事業に関しましては、ブームから定着へと市場の拡大が続く今、当社グループといたしましては、大豆の良さを活かした飲料としての豆乳を安定的に供給できるよう努めてまいります。

今後も引き続き環境、品質、安全、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心できる製品作りを目指していく所存であります。

### (4) 企業集団及び当社の営業成績及び財産の状況の推移

#### 企業集団の営業成績及び財産の状況の推移

|            | 第51期<br>(平成13年9月21日から<br>平成14年9月20日まで) | 第52期<br>(平成14年9月21日から<br>平成15年9月20日まで) | 第53期<br>(平成15年9月21日から<br>平成16年9月20日まで) | 第54期<br>(平成16年9月21日から<br>平成17年9月20日まで) |
|------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高(百万円)   | 16,996                                 | 17,112                                 | 18,641                                 | 19,708                                 |
| 営業利益(百万円)  | 976                                    | 926                                    | 1,025                                  | 789                                    |
| 経常利益(百万円)  | 762                                    | 733                                    | 849                                    | 659                                    |
| 当期純利益(百万円) | 304                                    | 268                                    | 306                                    | 343                                    |
| 1株当たり当期純利益 | 28円75銭                                 | 24円76銭                                 | 28円65銭                                 | 32円15銭                                 |
| 総資産(百万円)   | 15,742                                 | 16,379                                 | 16,567                                 | 16,302                                 |
| 純資産(百万円)   | 1,978                                  | 2,161                                  | 2,439                                  | 2,617                                  |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。
2. 第52期より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

当社の営業成績及び財産の状況の推移

|            | 第51期<br>(平成13年9月21日から<br>平成14年9月20日まで) | 第52期<br>(平成14年9月21日から<br>平成15年9月20日まで) | 第53期<br>(平成15年9月21日から<br>平成16年9月20日まで) | 第54期<br>(平成16年9月21日から<br>平成17年9月20日まで) |
|------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高(百万円)   | 16,089                                 | 16,423                                 | 17,962                                 | 19,134                                 |
| 営業利益(百万円)  | 845                                    | 870                                    | 992                                    | 758                                    |
| 経常利益(百万円)  | 652                                    | 691                                    | 854                                    | 671                                    |
| 当期純利益(百万円) | 223                                    | 238                                    | 291                                    | 368                                    |
| 1株当たり当期純利益 | 21円12銭                                 | 21円86銭                                 | 27円23銭                                 | 34円54銭                                 |
| 総資産(百万円)   | 15,042                                 | 15,846                                 | 16,011                                 | 16,069                                 |
| 純資産(百万円)   | 1,869                                  | 2,076                                  | 2,377                                  | 2,580                                  |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。
2. 第52期より、「商法施行規則の一部を改正する省令」(平成15年2月28日法務省令第7号)に基づき、改正後の商法施行規則の規定によっておりますので、従来の「当期利益」「1株当たり当期利益」は「当期純利益」「1株当たり当期純利益」と表示しております。
3. 第52期より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

## 2. 会社の概況（平成17年9月20日現在）

### (1) 企業集団の主要な事業内容

大豆を主原料とするみそ（生みそ、調理みそ、即席みそ）、豆乳、無菌充填技術を活かした飲料類、水（ミネラルウォーター）、その他食品の製造販売。

### (2) 企業集団の工場及び事業所

#### 当社

| 名 称       | 住 所                              |
|-----------|----------------------------------|
| 本社及び本社工場  | 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地                  |
| 大 門 工 場   | 愛知県岡崎市大門4丁目1番地11                 |
| 関 東 工 場   | 群馬県利根郡月夜野町大字政所1010番地             |
| 東 北 支 店   | 宮城県仙台市宮城野区高砂1丁目302番地1            |
| 北 関 東 支 店 | 栃木県小山市城東1丁目4-24 小山ビル2階           |
| 東 京 支 店   | 東京都世田谷区千歳台4丁目6番地5                |
| 北 陸 営 業 所 | 石川県金沢市新神田1丁目9-20 中仙ビル1階          |
| 静 岡 支 店   | 静岡県静岡市宮竹1丁目15番10号 オフィスプレステージ2階D号 |
| 三 河 支 店   | 愛知県豊川市三蔵子町橋本16番地1                |
| 名古屋統括支店   | 愛知県愛知郡長久手町蟹原911番地                |
| 三 重 支 店   | 三重県津市雲出本郷町485番地                  |
| 大 阪 支 店   | 大阪府茨木市舟木町19番3号                   |
| 岡 山 営 業 所 | 岡山県岡山市岡町1丁目6番地                   |
| 広 島 営 業 所 | 広島県広島市安佐南区祇園4丁目8番地2              |
| 九 州 出 張 所 | 福岡県福岡市南区高木1丁目9-12                |

- (注) 1. 平成16年10月5日付にて北陸出張所を移転し、北陸営業所といたしました。  
 2. 平成17年9月21日付にて岡山営業所と広島営業所を統合し、中国支店として広島県東広島市西条西本町4丁目22番地に開設いたしました。  
 3. 平成17年9月21日付にて九州出張所は九州支店に名称変更いたしました。  
 4. 関東工場は市町村合併に伴い、平成17年10月1日付にて群馬県利根郡みなかみ町政所1010番地へ住所変更いたしました。

#### 子法人等

| 会 社 名       | 名 称       | 住 所                 |
|-------------|-----------|---------------------|
| 株 式 会 社 匠 美 | 本社及び東大森工場 | 富山県中新川郡立山町東大森289番地2 |
|             | 坂井沢工場     | 富山県中新川郡立山町坂井沢154番地1 |
| 株式会社玉井味噌    | 本社及び本社工場  | 長野県東筑摩郡坂井村561番地     |

- (注) 株式会社玉井味噌は市町村合併に伴い、平成17年10月11日付にて長野県東筑摩郡筑北村字坂井561番地へ住所変更いたしました。

### (3) 株式の状況

会社が発行する株式の総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 10,580,880株  
 株主数 1,145名（前期末比52名減）

大株主（上位10名）

| 株 主 名           | 当社への出資状況    |         | 当社の当該株主への出資状況 |         |
|-----------------|-------------|---------|---------------|---------|
|                 | 持 株 数       | 議決権比率   | 持 株 数         | 出 資 比 率 |
| 株 式 会 社 佐 藤 産 業 | 1,525,300 株 | 14.61 % |               |         |
| マルサンアイ従業員持株会    | 777,900     | 7.44    |               |         |
| 佐 藤 公 信         | 695,420     | 6.66    |               |         |
| 中 島 典 子         | 426,830     | 4.08    |               |         |
| 福 島 裕 子         | 426,830     | 4.08    |               |         |
| 佐 藤 不 二 子       | 416,300     | 3.99    |               |         |
| 下 村 釰 爾         | 265,000     | 2.54    |               |         |
| 石 田 ち 彥         | 248,280     | 2.38    |               |         |
| 中 島 治 夫         | 169,800     | 1.62    |               |         |
| 福 島 重 喜         | 169,800     | 1.62    |               |         |

(4) 自己株式の取得、処分等及び保有の状況

取得株式

普通株式 112,920株 取得価額の総額 83,518千円

(注) 上記のうち商法第211条ノ3第1項第2号の決議により買受けた株式

普通株式 111,000株 取得価額の総額 82,140千円

(買受けを必要とした理由)

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するためであります。

処分株式

該当事項はありません。

失効手続きをした株式

該当事項はありません。

決算期における保有株式

普通株式 115,460株

(5) 企業集団及び当社の従業員の状況

企業集団の従業員の状況

|     | 従 業 員 数 | 対前期末比増減 |
|-----|---------|---------|
| 男 性 | 316 名   | + 19 名  |
| 女 性 | 73      | - 2     |
| 合 計 | 389     | + 17    |

(注) 従業員数には、出向社員5名、嘱託27名、パートタイマー51名は含まれておりません。

当社の従業員の状況

|        | 従 業 員 数 | 対前期末比増減 | 平均年齢   | 平均勤続年数  |
|--------|---------|---------|--------|---------|
| 男 性    | 302 名   | + 16 名  | 40.6 歳 | 16年 8ヶ月 |
| 女 性    | 65      | - 2     | 36.4   | 11 10   |
| 合計又は平均 | 367     | + 14    | 39.8   | 15 10   |

(注) 従業員数には、出向社員6名、嘱託24名、パートタイマー43名は含まれておりません。



(6) 企業結合の状況  
子法人等の状況

| 会社名    | 所在地                 | 資本金               | 議決権比率 | 主要な事業内容    |
|--------|---------------------|-------------------|-------|------------|
| 株式会社美  | 富山県中新川郡立山町東大森289番地2 | 38 <sup>百万円</sup> | 100%  | 清涼飲料水の加工販売 |
| 株式会社味噌 | 長野県東筑摩郡坂井村561番地     | 45                | 80    | みその製造販売    |

(注) 株式会社玉井味噌は市町村合併に伴い、平成17年10月11日付にて長野県東筑摩郡筑北村字坂井561番地へ住所変更いたしました。

企業結合の成果

当社の連結子法人等は、上記の子法人等の状況に記載の2社であります。当連結会計年度の売上高は197億8百万円（前連結会計年度比5.7%増）、当期純利益は3億43百万円（前連結会計年度比12.1%増）であります。

(7) 主要な借入先

| 借入先        | 借入金残高                | 借入先の当社への出資状況        |       |
|------------|----------------------|---------------------|-------|
|            |                      | 持株数                 | 議決権比率 |
| 株式会社みずほ銀行  | 1,921 <sup>百万円</sup> | 30,000 <sup>株</sup> | 0.29% |
| 株式会社UFJ銀行  | 1,089                | 50,000              | 0.48  |
| 岡崎信用金庫     | 562                  | 15,000              | 0.14  |
| 株式会社百五銀行   | 544                  |                     |       |
| 株式会社名古屋銀行  | 521                  |                     |       |
| 株式会社滋賀銀行   | 390                  |                     |       |
| 株式会社十六銀行   | 283                  |                     |       |
| 碧海信用金庫     | 264                  | 10,000              | 0.10  |
| 日本生命保険相互会社 | 221                  | 15,000              | 0.14  |
| 株式会社三井住友銀行 | 149                  |                     |       |
| 株式会社中京銀行   | 113                  |                     |       |

(8) 取締役及び監査役

| 地 位       | 氏 名     | 担当又は主な職業                  |
|-----------|---------|---------------------------|
| 代表取締役社長   | 下 村 釵 爾 |                           |
| 常 務 取 締 役 | 小 川 脩   | 開発本部長                     |
| 常 務 取 締 役 | 鍋 田 紘一郎 | 営業本部長（兼）健食部長              |
| 常 務 取 締 役 | 鈴 木 擴 司 | 管理本部長                     |
| 常 務 取 締 役 | 青 木 春 雄 | 生産本部長                     |
| 取 締 役     | 小 柳 忠 義 | 営業本部副本部長（兼）東日本営業部長        |
| 取 締 役     | 三 浦 里 美 | 生産本部副本部長（兼）製造部長           |
| 取 締 役     | 大河内 宣 久 | 管理本部副本部長（兼）経理財務部長         |
| 取締役相談役    | 岩 月 博 保 | 工場戦略、アメリカン・ソイ・プロダクツINC.担当 |
| 常 勤 監 査 役 | 鈴 木 治 夫 |                           |
| 監 査 役     | 畝 部 泰 則 | 税理士（畝部泰則会計事務所所長）          |
| 監 査 役     | 新 井 一 弘 | 税理士（たくま税理士法人代表）           |

(注) 1. 畝部泰則及び新井一弘は株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

2. 平成16年12月15日開催の第53回定時株主総会終結後の取締役会において、次のとおり変更いたしました。

(氏 名) (変更前) (変更後)

青 木 春 雄 取 締 役 常 務 取 締 役

3. 決算期後の平成17年9月21日付をもって取締役の担当職務を次のとおり変更いたしました。

(地 位) (氏 名) (変更前) (変更後)

常務取締役 小 川 脩 開 発 本 部 長 開 発 ・ マ ー ケ テ ィ ン グ 担 当

常務取締役 鍋 田 紘 一 郎 営 業 本 部 長 営 業 担 当  
(兼) 健 食 部 長

常務取締役 鈴 木 擴 司 管 理 本 部 長 管 理 担 当

常務取締役 青 木 春 雄 生 産 本 部 長 生 産 担 当

取 締 役 小 柳 忠 義 営 業 本 部 副 本 部 長 営 業 担 当 部 長  
(兼) 東 日 本 営 業 部 長

取 締 役 三 浦 里 美 生 産 本 部 副 本 部 長 製 造 部 長  
(兼) 製 造 部 長

取 締 役 大 河 内 宣 久 管 理 本 部 副 本 部 長 経 理 財 務 部 長  
(兼) 経 理 財 務 部 長

4. 常勤監査役鈴木治夫は、平成16年12月15日開催の第53回定時株主総会において新たに選任され、就任いたしました。

5. 常勤監査役村松茂雄は、平成16年12月15日開催の第53回定時株主総会終結の時をもって退任いたしました。

6. 平成16年12月15日開催の第53回定時株主総会において、補欠監査役として高橋公信が選任されております。

(9) 会計監査人に支払うべき報酬等の額

当社及び当社の子法人等が会計監査人に支払うべき  
報酬等の合計額 17,000千円

上記 の合計額のうち、公認会計士法（昭和23年法  
律第103号）第2条第1項の業務（監査証明業務）  
の対価として当社及び当社の子法人等が会計監査人  
に支払うべき報酬等の合計額 17,000千円

上記 の合計額のうち、当社が会計監査人に支払う  
べき報酬等の額 17,000千円

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において「株式会社の監査等に関  
する商法の特例に関する法律」に基づく監査と、証券取引法に基づく  
監査の額を区分しておりませんので、 の金額には証券取引法に基づ  
く監査の報酬等を含めております。

3. 決算期後に生じた企業集団の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。

- 
- (注) 1. 営業報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示し  
ております。百分率は表示単位未満を四捨五入しております。  
2. 売上高などの記載金額には、消費税額は含まれておりません。

# 連結貸借対照表

(平成17年9月20日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部   |            | 負 債 の 部         |            |
|-----------|------------|-----------------|------------|
| 科 目       | 金 額        | 科 目             | 金 額        |
| 流動資産      | 6,967,051  | 流動負債            | 7,490,384  |
| 現金及び預金    | 729,177    | 支払手形及び買掛金       | 2,302,842  |
| 受取手形及び売掛金 | 3,958,899  | 短期借入金           | 2,492,194  |
| 棚卸資産      | 1,269,000  | 未払法人税等          | 197,200    |
| 繰延税金資産    | 378,278    | 賞与引当金           | 428,075    |
| その他       | 637,104    | 未払金             | 1,340,394  |
| 貸倒引当金     | 5,408      | その他             | 729,678    |
| 固定資産      | 9,335,333  | 固定負債            | 6,194,273  |
| 有形固定資産    | 7,524,147  | 社債              | 800,000    |
| 建物及び構築物   | 2,505,582  | 長期借入金           | 3,602,749  |
| 機械装置及び運搬具 | 2,320,510  | 退職給付引当金         | 1,342,590  |
| 土地        | 2,620,637  | 役員退職慰労引当金       | 166,986    |
| 建設仮勘定     | 4,579      | 繰延税金負債          | 10,700     |
| その他       | 72,836     | その他             | 271,247    |
| 無形固定資産    | 30,175     | 負債合計            | 13,684,657 |
| 投資その他の資産  | 1,781,010  | 少数株主持分          |            |
| 投資有価証券    | 858,499    | 少数株主持分          |            |
| 繰延税金資産    | 637,572    | 資 本 の 部         |            |
| その他       | 285,901    | 資本金             | 562,144    |
| 貸倒引当金     | 962        | 資本剰余金           | 361,322    |
| 資産合計      | 16,302,384 | 利益剰余金           | 1,783,248  |
|           |            | 株式等評価差額金        | 17,828     |
|           |            | 為替換算調整勘定        | 21,906     |
|           |            | 自己株式            | 84,910     |
|           |            | 資本合計            | 2,617,726  |
|           |            | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 16,302,384 |

# 連結損益計算書

(平成16年9月21日から  
平成17年9月20日まで)

(単位：千円)

| 科 目              | 金          | 額          |
|------------------|------------|------------|
| (経常損益の部)         |            |            |
| 営業損益の部           |            |            |
| 営業収益             |            |            |
| 売上高              | 19,708,298 | 19,708,298 |
| 営業費用             |            |            |
| 売上原価             | 13,447,877 |            |
| 販売費及び一般管理費       | 5,471,280  | 18,919,158 |
| 営業利益             |            | 789,140    |
| 営業外損益の部          |            |            |
| 営業外収益            |            |            |
| 受取利息配当金          | 11,704     |            |
| その他              | 100,813    | 112,518    |
| 営業外費用            |            |            |
| 支払利息             | 175,289    |            |
| 持分法による投資損失       | 21,215     |            |
| その他              | 45,804     | 242,308    |
| 経常利益             |            | 659,349    |
| (特別損益の部)         |            |            |
| 特別利益             |            |            |
| 固定資産売却益          | 224        |            |
| 貸倒引当金戻入益         | 559        | 783        |
| 特別損失             |            |            |
| 固定資産売却損          | 3,259      |            |
| 固定資産除却損          | 12,997     |            |
| 投資有価証券評価損        | 797        |            |
| 退職給付会計基準変更時差異償却額 | 126,712    | 143,766    |
| 税金等調整前当期純利益      |            | 516,367    |
| 法人税、住民税及び事業税     |            | 355,913    |
| 還付法人税等           |            | 49,584     |
| 法人税等調整額          |            | 126,081    |
| 少数株主損失( )        |            | 7,342      |
| 当期純利益            |            | 343,462    |

## 注記事項

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示してあります。
2. 連結の範囲等に関する事項
  - (1) 連結の範囲に関する事項  
連結子法人等の数..... 2社  
連結子法人等..... 株式会社匠美  
株式会社玉井味噌  
すべての子法人等を連結しております。
  - (2) 持分法の適用に関する事項  
持分法を適用した関連会社数... 1社  
持分法を適用した関連会社..... アメリカン・ソイ・プロダクツINC.  
関連会社は1社であります。  
当該会社の事業年度に係る計算書類を使用しております。
  - (3) 連結子法人等の事業年度等に関する事項  
連結子法人等の決算日は、連結決算日と一致しております。
3. 会計方針等
  - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
その他有価証券  
時価のあるもの..... 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。  
時価のないもの..... 移動平均法による原価法を採用しております。
  - (2) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法  
時価法を採用しております。
  - (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品・製品・原材料・仕掛品..... 総平均法による原価法によっております。  
貯蔵品..... 最終仕入原価法によっております。
  - (4) 有形固定資産の減価償却の方法  
定率法によっております。  
なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。
  - (5) 無形固定資産の減価償却の方法  
定額法によっております。  
なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見積利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
  - (6) 引当金の計上基準  
貸倒引当金... 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。  
賞与引当金... 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担額を計上しております。

退職給付引当金...当社及び連結子法人等1社は従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、会計基準変更時差異(633,561千円)については、5年による均等額を費用処理しております。数理計算上の差異は、各期の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれ発生翌期から費用処理することにしております。

役員退職慰労引当金...当社及び連結子法人等1社の役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員規程に定める退職慰労金に係る規定に基づく期末要支給額を引当計上したものであります。

(7) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(8) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法...特例処理の条件を満たしている金利スワップについては特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...金利スワップ

ヘッジ対象...借入金

ヘッジ方針...金利変動リスクの低減並びに金融収支改善のために行っております。

(9) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜処理によっております。

(10) 連結子法人等の資産及び負債の評価に関する事項

連結子法人等の資産及び負債の評価方法は、全面時価評価法によっております。

4. 連結貸借対照表関係

(1) 担保に供されている資産

有形固定資産 5,846,153千円

投資有価証券 28,661千円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 9,800,961千円

5. 連結損益計算書関係

1株当たり当期純利益 32円15銭

1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

|                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 連結損益計算書上の当期純利益                  | 343,462千円   |
| 普通株式に係る当期純利益                    | 337,962千円   |
| 普通株主に帰属しない金額の内訳<br>利益処分による役員賞与金 | 5,500千円     |
| 普通株主に帰属しない金額                    | 5,500千円     |
| 普通株式の期中平均株式数                    | 10,510,644株 |

独立監査人の監査報告書

平成17年11月4日

マルサンアイ株式会社  
取締役会 御中

中央青山監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 久保光雄 ㊟

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木哲夫 ㊟

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 竹中 徹 ㊟

当監査法人は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第19条の2第3項の規定に基づき、マルサンアイ株式会社の平成16年9月21日から平成17年9月20日までの第54期営業年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表及び連結損益計算書について監査を行った。この連結計算書類の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。なお、この監査は、当監査法人が必要と認めて実施した子会社に対する監査手続を含んでいる。

監査の結果、当監査法人の意見は、次のとおりである。

上記の連結計算書類は、法令及び定款に従いマルサンアイ株式会社及びその連結子法人等から成る企業集団の財産及び損益の状態を正しく示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上



## 連結計算書類に係わる監査役会の監査報告書 謄本

### 連結計算書類に係わる監査報告書

当社の監査役会は、平成16年9月21日から平成17年9月20日までの第54期営業年度の連結計算書類（連結貸借対照表及び連結損益計算書）に関して、各監査役より監査の方法及び結果の報告を受け、協議の結果、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役の監査の方法の概要

各監査役は、監査役会が定めた監査方針、業務の分担等に従い、連結計算書類について、取締役等及び会計監査人からの報告及び説明を受けました。

また子会社に対しては、必要に応じて会計に関する報告を求め、子会社に赴き、業務及び財産の状況を調査いたしました。

#### 2. 監査の結果

(1) 会計監査人中央青山監査法人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

(2) 子会社の調査の結果、連結計算書に関して指摘すべき事項は認められません。

平成17年11月7日

マルサンアイ株式会社 監査役会

常勤監査役 鈴木 治 夫 ㊟

監査役 畝 部 泰 則 ㊟

監査役 新 井 一 弘 ㊟

(注) 監査役畝部泰則及び監査役新井一弘は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

# 貸借対照表

(平成17年9月20日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部    |            | 負 債 の 部       |            |
|------------|------------|---------------|------------|
| 科 目        | 金 額        | 科 目           | 金 額        |
| 流動資産       | 6,831,356  | 流動負債          | 7,331,358  |
| 現金及び預金     | 722,217    | 支払手形          | 1,265,991  |
| 受取掛        | 227,938    | 買掛金           | 946,996    |
| 商製材        | 3,572,961  | 1年以内返済予定長期借入金 | 2,483,110  |
| 原仕材        | 10,351     | 未払金           | 1,260,170  |
| 貯蔵品        | 333,113    | 未払法人税等        | 190,502    |
| 前払費用       | 360,777    | 未払消費税等        | 49,103     |
| 繰延税金資産     | 439,215    | 未払費用          | 175,465    |
| 未収入金       | 71,420     | 賞与引当金         | 414,399    |
| 短期貸付       | 78,039     | 設備支払手形        | 419,512    |
| 倒引当金       | 117,751    | その他           | 126,106    |
| 固定資産       | 9,238,194  | 固定負債          | 6,157,426  |
| 有形固定資産     | 7,514,852  | 社債            | 800,000    |
| 構築物        | 1,778,098  | 長期借入金         | 3,578,700  |
| 機械装置       | 643,747    | 退職給付引当金       | 1,340,493  |
| 車両運搬具      | 2,269,707  | 役員退職慰労引当金     | 166,986    |
| 工具器具備品     | 6,014      | 長期設備支払手形      | 86,573     |
| 土地         | 72,605     | 預り保証金         | 67,781     |
| 建物         | 2,740,100  | その他           | 116,891    |
| 無形固定資産     | 4,579      | 負債合計          | 13,488,785 |
| 借地権        | 29,835     | 資本の部          |            |
| ソフトウェア     | 7,551      | 資本金           | 562,144    |
| 電話加入権      | 12,332     | 資本剰余金         | 361,322    |
| その他の資産     | 8,637      | 資本準備金         | 309,760    |
| 投資有価証券     | 1,313      | その他資本剰余金      | 51,562     |
| 株式         | 1,693,505  | 自己株式処分差益      | 51,562     |
| 出資         | 574,119    | 利益剰余金         | 1,724,571  |
| 長期貸付       | 83,600     | 利益準備金         | 111,300    |
| 長期営業費用     | 2,259      | 任意積立金         | 489,000    |
| 長期前払費用     | 215,000    | 別途積立金         | 489,000    |
| 繰延税金資産     | 962        | 当期末処分利益       | 1,124,270  |
| 繰延税金資産     | 109,035    | 株式等評価差額金      | 17,638     |
| 保険積立金      | 615,700    | 自己株式          | 84,910     |
| 差入保証金      | 112,748    | 資本合計          | 2,580,765  |
| 倒引当金       | 46,123     | 負債及び資本合計      | 16,069,551 |
| 子会社投資損失引当金 | 4,720      |               |            |
|            | 33,962     |               |            |
|            | 36,800     |               |            |
| 資産合計       | 16,069,551 |               |            |

# 損 益 計 算 書

(平成16年9月21日から  
平成17年9月20日まで)

(単位：千円)

| 科 目              | 金          | 額          |
|------------------|------------|------------|
| (経常損益の部)         |            |            |
| 営業損益の部           |            |            |
| 営業収益             |            |            |
| 売上高              | 19,134,568 | 19,134,568 |
| 営業費用             |            |            |
| 売上原価             | 13,126,238 |            |
| 販売費及び一般管理費       | 5,249,635  | 18,375,873 |
| 営業利益             |            | 758,694    |
| 営業外損益の部          |            |            |
| 営業外収益            |            |            |
| 受取利息配当金          | 16,515     |            |
| その他              | 112,546    | 129,062    |
| 営業外費用            |            |            |
| 支払利息             | 171,347    |            |
| その他              | 44,585     | 215,932    |
| 経常利益             |            | 671,824    |
| (特別損益の部)         |            |            |
| 特別利益             |            |            |
| 固定資産売却益          | 224        |            |
| 貸倒引当金戻入益         | 667        | 892        |
| 特別損失             |            |            |
| 固定資産売却損          | 3,259      |            |
| 固定資産除却損          | 12,977     |            |
| 投資有価証券評価損        | 797        |            |
| 退職給付会計基準変更時差異償却額 | 126,712    | 143,746    |
| 税引前当期純利益         |            | 528,970    |
| 法人税、住民税及び事業税     |            | 349,000    |
| 還付法人税等           |            | 49,584     |
| 法人税等調整額          |            | 139,000    |
| 当期純利益            |            | 368,554    |
| 前期繰越利益           |            | 755,716    |
| 当期末処分利益          |            | 1,124,270  |

## 注記事項

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示してあります。
2. 重要な会計方針
  - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
子会社株式及び関連会社株式...移動平均法による原価法を採用しております。  
その他有価証券  
時価のあるもの.....決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。  
時価のないもの.....移動平均法による原価法を採用しております。
  - (2) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法  
時価法を採用しております。
  - (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品・製品・原材料・仕掛品.....総平均法による原価法によっております。  
貯蔵品.....最終仕入原価法によっております。
  - (4) 有形固定資産の減価償却の方法  
定率法によっております。  
なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。
  - (5) 無形固定資産の減価償却の方法  
定額法によっております。  
なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見積利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
  - (6) 引当金の計上基準  
貸倒引当金...債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。  
子会社投資損失引当金...子会社への投資に対する損失に備えるため、その資産内容等を検討して計上しております。  
賞与引当金...従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担額を計上しております。  
退職給付引当金...従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、会計基準変更時差異（633,561千円）については、5年による均等額を費用処理しております。数理計算上の差異は、各期の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により、それぞれ発生の翌期から費用処理することにしております。  
役員退職慰労引当金...役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員規程に定める退職慰労金に係る規定に基づく期末要支給額を引当計上したものであり、商法施行規則第43条に規定する引当金であります。

- (7) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (8) ヘッジ会計の方法  
ヘッジ会計の方法...特例処理の条件を満たしている金利スワップについては特例処理を採用しております。  
ヘッジ手段とヘッジ対象  
ヘッジ手段...金利スワップ  
ヘッジ対象...借入金  
ヘッジ方針...金利変動リスクの低減並びに金融収支改善のために  
行っております。
- (9) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜処理によっております。

### 3. 貸借対照表関係

- (1) 子会社に対する金銭債権・債務
- |        |           |
|--------|-----------|
| 短期金銭債権 | 94,685千円  |
| 長期金銭債権 | 215,000千円 |
| 短期金銭債務 | 24,392千円  |
- (2) 担保に供されている資産
- |        |             |
|--------|-------------|
| 有形固定資産 | 5,926,044千円 |
| 投資有価証券 | 28,661千円    |
- (3) 偶発債務  
保証債務残高 33,133千円
- (4) 主なリース資産  
貸借対照表に計上した固定資産の他、飲料用充填機4式、車輛112台、フォークリフト19台、OA機器一式他についてはリース契約により使用しております。
- (5) 有形固定資産の減価償却累計額 9,407,695千円
- (6) 商法施行規則第124条第3号に規定する増加純資産額 17,638千円

### 4. 損益計算書関係

- (1) 子会社との取引高
- |            |           |
|------------|-----------|
| 売上高        | 24千円      |
| 外注加工費      | 361,802千円 |
| 営業取引以外の取引高 | 16,168千円  |
- (2) 1株当たり当期純利益 34円54銭  
1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

|                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 損益計算書上の当期純利益                    | 368,554千円   |
| 普通株式に係る当期純利益                    | 363,054千円   |
| 普通株主に帰属しない金額の内訳<br>利益処分による役員賞与金 | 5,500千円     |
| 普通株主に帰属しない金額                    | 5,500千円     |
| 普通株式の期中平均株式数                    | 10,510,644株 |

## 利益処分案

(単位：円)

| 科 目                       | 金 額           |
|---------------------------|---------------|
| 当期未処分利益の処分                |               |
| 当期未処分利益                   | 1,124,270,871 |
| 処 分 額                     |               |
| 利 益 配 当 金                 | 88,956,070    |
| (1株につき8円50銭)              |               |
| 取 締 役 賞 与 金               | 4,900,000     |
| 監 査 役 賞 与 金               | 600,000       |
| 次 期 繰 越 利 益               | 1,029,814,801 |
| そ の 他 資 本 剰 余 金 の 処 分     |               |
| そ の 他 資 本 剰 余 金           | 51,562,181    |
| そ の 他 資 本 剰 余 金 次 期 繰 越 額 | 51,562,181    |

独立監査人の監査報告書

平成17年11月4日

マルサンアイ株式会社  
取締役会 御中

中央青山監査法人

|                |              |
|----------------|--------------|
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 久保光雄 ㊞ |
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 鈴木哲夫 ㊞ |
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 竹中 徹 ㊞ |

当監査法人は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第2条第1項の規定に基づき、マルサンアイ株式会社の平成16年9月21日から平成17年9月20日までの第54期営業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、営業報告書（会計に関する部分に限る。）及び利益処分案並びに附属明細書（会計に関する部分に限る。）について監査を行った。なお、営業報告書及び附属明細書について監査の対象とした会計に関する部分は、営業報告書及び附属明細書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。この計算書類及び附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及び附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及び附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及び附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。なお、この監査は、当監査法人が必要と認めて実施した子会社に対する監査手続を含んでいる。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 営業報告書（会計に関する部分に限る。）は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 利益処分案は、法令及び定款に適合しているものと認める。
- (4) 附属明細書（会計に関する部分に限る。）について、商法の規定により指摘すべき事項はない。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監 査 報 告 書

当社の監査役会は、平成16年9月21日から平成17年9月20日までの第54期営業年度における商法施行規則第133条第1項に掲げる事項、その他取締役の職務の執行に関し、各監査役から監査の方法及び結果についての報告に基づき審議した結果、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役の監査の方法の概要

各監査役は、取締役会に出席し、その他の重要な会議に必要な応じて出席する他、随時取締役等及び使用人から営業の報告を聞き、重要な決裁文書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所に於いて調査をいたしました。子会社に対しては、定期的に営業の報告を求めました。

また、会計監査人からは監査の報告と説明を受け、計算書類等に検討を加えました。

### 2. 監査の結果

- (1) 会計監査人中央青山監査法人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。
- (2) 営業報告書の、会計に関する部分以外の部分は、法令・定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 利益処分に関する議案は、会社財産の状況、その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- (4) 附属明細書の、会計に関する部分以外の部分は、法令・定款に適合して作成されているものと認めます。
- (5) 取締役の職務遂行に関しては、子会社に関する職務を含め、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の有無については、指摘すべき事項はありません。

なお、取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例でない取引並びに自己株式の取得及び処分等についても、取締役の義務違反は認められません。

平成17年11月7日

マルサンアイ株式会社 監査役会

常勤監査役 鈴木 治 夫 ㊟

監 査 役 畝 部 泰 則 ㊟

監 査 役 新 井 一 弘 ㊟

(注) 監査役畝部泰則及び監査役新井一弘は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

以 上



# 議決権の行使についての参考書類

1. 総株主の議決権の数 10,437個

## 2. 議案及び参考事項

### 第1号議案 第54期利益処分案承認の件

議案の内容につきましては、「添付書類」の22頁に記載のとおりであります。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと認識すると同時に、1株当たりの連結純利益の向上に努力しております。株主様に対する配当金につきましては、連結業績を重視し、配当性向を考慮したうえで決定を行います。具体的には配当性向20%以上を目処として、安定的かつ継続的に漸増させることを基本方針としております。

当期の利益配当金につきましては株主の皆様のご支援におこたえすべく、前期の1株につき普通配当7円50銭から1円増配して、8円50銭といたしたいと存じます。この結果、配当性向は24.6%となります。

なお、役員賞与金につきましては、当期の業績などを勘案して5,500千円(うち監査役賞与600千円)とさせて頂きたいと存じます。

また、当期の内部留保資金の用途につきましては、主要事業の増産・合理化並びに環境対策のための設備投資や研究開発に有効活用してまいります。

### 第2号議案 定款一部変更の件

#### 1. 変更の理由

「電子公告制度の導入のための商法等の一部を改正する法律」(平成16年法律第87号)が平成17年2月1日に施行されたことに伴い、当社公告をインターネットのホームページ上に掲載することで株主様への利便性の向上と公告費用の削減を目的に現行定款第4条の公告の方法について規定の変更を行うものであります。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行うものいたします。

## 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

| 現 行 定 款                                                       | 変 更 案                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第1章 総 則</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第4条 当会社の公告は、日本経済新聞に掲載する。</p> | <p>第1章 総 則</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第4条 当会社の公告は、<u>電子公告により行う。ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができないときは、</u>日本経済新聞に掲載する。</p> |

### 第3号議案 取締役14名選任の件

取締役9名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。平成17年9月21日付の組織変更により4本部制を廃止し、社長直属の12部制として組織をフラット化いたしました。各部長に権限を委譲し、責任を明確にするため、新任候補者6名を含む取締役14名の選任をお願いするものであります。

なお、取締役小柳忠義氏は本総会終結の時をもって退任されます。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)           | 略歴及び他の会社の代表状況                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社株式の数 |
|-------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | 下 村  夙  爾<br>(昭和13年11月24日) | 昭和36年4月 株式会社マツダオート名古屋入社<br>昭和43年2月 当社入社<br>昭和60年9月 運輸倉庫部長<br>昭和62年12月 当社取締役就任<br>平成7年12月 当社取締役副社長就任<br>平成8年12月 当社代表取締役社長就任(現任)<br>平成8年12月 株式会社匠美代表取締役社長就任(現任)<br>平成10年1月 アメリカン・ソイ・プロダクツINC.取締役就任(現任)<br>平成16年2月 株式会社玉井味噌取締役会長就任(現任) | 265,000株   |
| 2     | 小 川  脩<br>(昭和18年6月10日)     | 昭和41年4月 株式会社金久入社<br>昭和49年6月 当社入社<br>平成5年9月 生産本部長<br>平成5年12月 当社取締役就任<br>平成7年4月 開発本部長<br>平成15年9月 開発本部長(兼)品質保証部長<br>平成15年12月 当社常務取締役就任(現任)<br>平成15年12月 株式会社匠美取締役就任(現任)<br>平成17年9月 開発・マーケティング担当(現任)                                     | 52,000株    |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)           | 略歴及び他の会社の代表状況                                                                                                                                                                                                                                             | 所有する当社株式の数 |
|-------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3     | 鍋田 紘一郎<br>(昭和19年2月21日) | 昭和41年4月 日産プリンス自動車販売株式会社入社<br>昭和44年2月 当社入社<br>平成2年4月 商品開発部長<br>平成2年12月 当社取締役就任<br>平成11年9月 市場開発部長<br>平成13年9月 営業本部長<br>平成15年12月 当社常務取締役就任(現任)<br>平成16年9月 健食部長<br>平成17年9月 営業担当(現任)                                                                            | 43,000株    |
| 4     | 鈴木 擴司<br>(昭和20年3月7日)   | 昭和38年3月 当社入社<br>平成2年9月 関西営業部長<br>平成2年12月 当社取締役就任<br>平成5年6月 マルサンヘルスサービス株式会社<br>代表取締役専務取締役就任(出向)<br>平成10年9月 管理本部副本部長<br>平成11年9月 経営管理室長<br>平成13年9月 管理本部長(兼)経理財務部長<br>平成15年9月 管理本部長<br>平成15年12月 当社常務取締役就任(現任)<br>平成16年12月 株式会社匠美取締役就任(現任)<br>平成17年9月 管理担当(現任) | 55,000株    |
| 5     | 青木 春雄<br>(昭和21年9月30日)  | 昭和44年3月 当社入社<br>平成3年9月 開発本部副本部長<br>平成3年12月 当社取締役就任<br>平成11年9月 関連事業本部長<br>平成13年9月 生産本部長<br>平成16年2月 株式会社玉井味噌代表取締役社長就任<br>(現任)<br>平成16年12月 当社常務取締役就任(現任)<br>平成17年9月 生産担当(現任)                                                                                 | 54,000株    |
| 6     | 三浦 里美<br>(昭和24年4月14日)  | 昭和47年3月 当社入社<br>平成8年9月 生産購買本部長補佐、製造、品質保証<br>担当<br>平成11年9月 生産本部副本部長(兼)製造部長<br>平成15年12月 当社取締役就任(現任)<br>平成17年9月 製造部長(現任)                                                                                                                                     | 16,000株    |
| 7     | 大河内 宣久<br>(昭和24年7月3日)  | 昭和47年3月 当社入社<br>平成8年9月 生産購買本部長補佐、生産管理、購買<br>担当<br>平成11年9月 生産本部副本部長(兼)購買部長<br>平成15年9月 管理本部副本部長(兼)経理財務部長<br>平成15年12月 当社取締役就任(現任)<br>平成17年9月 経理財務部長(現任)                                                                                                      | 16,000株    |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)           | 略歴及び他の会社の代表状況                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する当社株式の数 |
|-------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 8     | 伊藤 准次<br>(昭和24年6月3日)   | 昭和47年3月 当社入社<br>平成12年9月 生産本部製造部みそ工場長<br>平成15年9月 生産本部購買部長(兼)海外調達課長<br>平成16年9月 生産本部副本部長(兼)購買部長、海外調達課長<br>平成17年9月 購買部長(兼)海外調達課長(現任)                                                                                                                         | 13,000株    |
| 9     | 太田 博幸<br>(昭和24年7月25日)  | 昭和47年3月 明治生命保険相互会社(現:明治安田生命保険相互会社)入社<br>昭和49年7月 当社入社<br>平成11年9月 営業本部関西営業部大阪支店長<br>平成12年9月 営業本部関西営業部長(兼)関西営業部大阪支店長<br>平成13年9月 営業本部西日本営業部長(兼)大阪支店長<br>平成14年9月 営業本部西日本営業部長<br>平成16年9月 営業本部副本部長(兼)西日本営業部長<br>平成17年9月 西日本営業部長(現任)                             | 15,000株    |
| 10    | 中嶋 広明<br>(昭和24年10月8日)  | 昭和47年9月 当社入社<br>平成11年9月 経営管理室CC室<br>平成13年9月 広報室長<br>平成14年9月 管理本部副本部長(兼)広報部長<br>平成16年9月 管理本部副本部長(兼)総務人事部長<br>平成17年9月 総務人事部長(現任)                                                                                                                           | 12,000株    |
| 11    | 又賀 敏夫<br>(昭和24年10月12日) | 昭和48年3月 当社入社<br>平成11年9月 生産本部生産管理部長<br>平成16年9月 生産管理副本部長(兼)生産管理部長<br>平成17年9月 生産管理部長(現任)                                                                                                                                                                    | 14,000株    |
| 12    | 伊藤 明德<br>(昭和25年12月4日)  | 昭和48年3月 当社入社<br>平成11年9月 開発本部研究所長<br>平成14年9月 開発本部副本部長(兼)研究所長<br>平成17年9月 研究所長(現任)                                                                                                                                                                          | 11,000株    |
| 13    | 浅井 邦次郎<br>(昭和26年2月16日) | 昭和44年3月 当社入社<br>平成10年9月 営業本部企画販促部長<br>平成14年9月 営業本部統括部長(兼)企画販促部長<br>平成15年9月 営業本部副本部長(兼)企画販促部長<br>平成17年9月 マーケティング部長(現任)                                                                                                                                    | 17,000株    |
| 14    | 岩月 博保<br>(昭和16年3月23日)  | 昭和34年3月 当社入社<br>昭和59年2月 豆乳工場長<br>昭和62年12月 当社取締役就任<br>平成元年8月 アメリカン・ソイ・プロダクツINC. C.E.O. 就任(現任)<br>平成5年12月 当社常務取締役就任<br>平成8年9月 生産本部長<br>平成13年9月 生産、関連事業、工場建設担当<br>平成13年12月 株式会社匠美取締役就任<br>平成14年9月 工場戦略、アメリカン・ソイ・プロダクツINC. 担当(現任)<br>平成15年12月 当社取締役相談役就任(現任) | 105,000株   |

- (注) 1. 印は、新任候補者であります。  
2. 上記候補者と当社との間に、特別の利害関係はありません。

#### 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、補欠監査役の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては監査役会の同意を得ております。また候補者からは、監査役が任期中に退任し、法令に定める監査役の員数を欠く場合に監査役に就任する旨の承諾を得ております。

補欠監査役候補者は次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)          | 略歴及び他の会社の代表状況                                                                     | 所有する当社株式の数 |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 高橋公信<br>(昭和24年10月21日) | 昭和47年4月 当社入社<br>平成11年9月 品質保証部長<br>平成14年9月 開発本部副本部長(兼)品質保証部長<br>平成15年9月 内部監査室長(現任) | 1,000株     |

(注) 上記候補者と当社との間に、特別の利害関係はありません。

#### 第5号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

本総会終結の時をもって取締役を退任されます小柳忠義氏に対し、その在任中の功労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い、相当額の範囲内において退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的金額、贈呈の時期及び方法等につきましては、取締役会にご一任願いたいと存じます。

退任取締役の略歴は次のとおりであります。

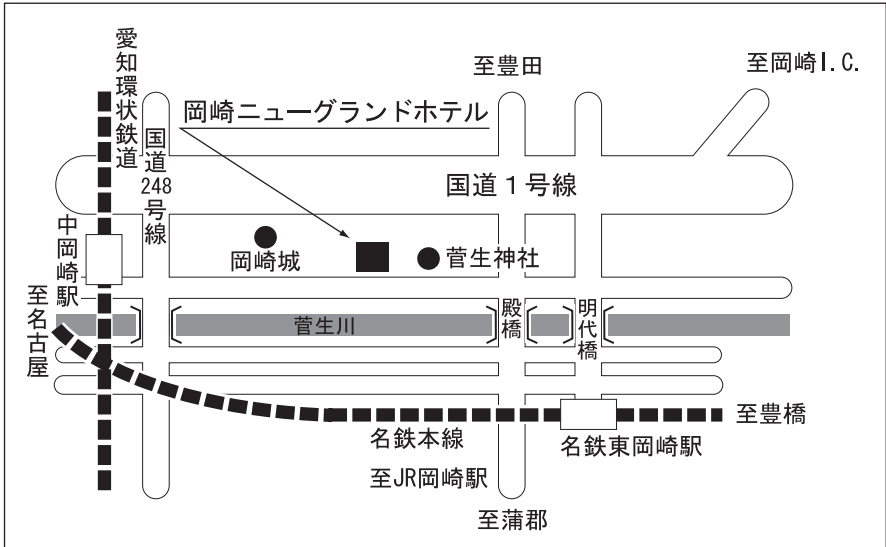
| 氏名   | 略歴                   |
|------|----------------------|
| 小柳忠義 | 平成15年12月 当社取締役就任(現任) |

以上



# 株主総会会場ご案内図

会場 愛知県岡崎市康生町515番地33  
岡崎ニューグランドホテル3階飛龍の間  
TEL 0564 21-5111



## 会場までの交通のご案内

|              |      |      |
|--------------|------|------|
| 名鉄東岡崎駅より     | 徒歩   | 約7分  |
| 愛知環状鉄道中岡崎駅より | 徒歩   | 約8分  |
| JR岡崎駅より      | タクシー | 約10分 |

駐車場が手狭のため、お車（自家用車）でのご来場は  
ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。